

學習指導案

小学部 低学年

題材名		「生（性）に関する学習」～体の名称からプライベートゾーン、タッチ等について～	
学習内容		学習領域	
・体の名称 ・プライベートゾーン ・いいタッチわるいタッチ ・No、Go、Tell ・体の洗い方		身体的側面：体（自分の体、プライベートゾーン） 心理的側面： 社会的側面：人との関わり（大人・同年代）、コミュニケーション（適切な拒否、適切な同意）、トラブル回避（適切な拒否、自分を守る適切な拒否）	
本時の目標・ねらいたい事			
・プライベートゾーン、No、Go、Tell		いいタッチ悪いタッチ、・体の洗い方・体の名称	
・プライベートゾーンの言葉と場所を知る。 ・プライベートゾーンの約束、①見せない②見ない③触らせない④触らないを知る。 ・被害者にならないために、「No、Go、Tell」（拒否する、逃げる、知らせる）」を体験的に学び、技能として身に付ける。		・いいタッチ、悪いタッチの違いに気づき知識として身に付ける。 ・自分の体を自分で洗うことを体験的に学び、自分の体の各パーツの名前や体の洗い方を知る。	
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動		備考
	1. 手遊び （1）手遊び歌映像「あたま・かた・ひざポン！」を見て模倣する。 （2）「教員を見て模倣する」MTの教員を見て模倣する。 2. 絵本読み聞かせ （1）テレビ絵本「おしえてくもくん！」を視聴する。 （2）絵本を振り返り質問に答える。 3. プライベートゾーンについて知る。 （1）等身大水着着用パネルを見て隠れているところを確認。（プライベートゾーンの呼び方） （2）プライベートゾーンは自分だけの大切な場所。 （3）自分のを見せたり、触らせたりしない。他人のを見たり、触ったりしない。 4. いいタッチ、わるいタッチ （1）映像を見ながら○か×の札を挙げる。 （2）どうしてそう思ったか答える。 （3）正解を知る。 5. No、Go、Tell について （1）教員の見本を見る。 （2）教員1名が犯罪者役となり、一人ずつ前に出てロールプレイングを行う。 6. お風呂の入り方 ●お風呂の椅子（プレイ室の椅子）を取りに行く。 ※教室内にセラピーマットを敷き詰める （1）MTを見ながらスポンジで体の各部位を歌に合わせてこする。 （2）順番で湯船に見立てたビニールプールに男女別に入る。 OBGM「いい湯だな」の後、10数えてからあがる。		

題材名		「生（性）に関する学習」 ～体の洗い方、手の洗い方～	
学習内容		学習領域	
・ 体の名称 ・ 体の洗い方 ・ 手の洗い方		身体的側面：体（自分の体、プライベートゾーン） 清潔（手洗い、入浴） 心理的側面： 社会的側面：身だしなみ	
本時の目標・ねらいたい事			
体（部位）の名称		体の洗い方・手の洗い方	
・ 自分の体に関心を向ける。 ・ 体の各部位の名前を知る。		・ 体の部位を確認しながら、自分の体を自分で洗うことを体験的に学ぶ。 ・ 手の洗い方、身体の洗い方を知る。	
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動		備考
	1. 手遊び （1）手遊び歌映像「あたま・かた・ひざポン！」を見て模倣する。 2. からだの部位の名称を知る （1）画像を見ながら、からだの部位を知る。 （2）クイズ形式で、自分の体の部位を確認する。 3. 体の洗い方 （1）動画絵本「ノントンのあわぶくぷくぷぷぷ」を視聴する。 （2）MTを見ながら、曲に合わせてスポンジで体の各部位をこする。 ①手本を見ながら一斉にやってみる ②クラスごとに前に出てやる。 4. 手の洗い方 （1）手洗い動画を見る。 （2）動画に合わせて、手を洗う動作を模倣する。 （3）授業終了後、教室や廊下の水道に行き泡石鹸をつけて動画を見ながら手洗いをする。		全員 椅子使用

小学部 高学年

題材名	「生（性）に関する学習」 ～からだの部位（からだの名前）～		
学習内容		学習領域	
・ じぶんのからだ ・ からだのなまえ		身体的側面：体の名称を知る 心理的側面：自分の性への気づき 社会的側面：パーソナルスペース・プライベートゾーンの基礎	
本時の目標・ねらいたい事			
基礎的な知識		繰り返しの学習	
・ パーソナルスペースやプライベートゾーンを学ぶ前に、「自分の身体」と「身体部位の名称」を学び、基礎的な知識を身につける。		・ 生（性）に関する学習の基礎として、繰り返し学ぶ最初の授業とし、定着を図る。	
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動		備考
	●児童は自分で指差す、触るなどして動作を伴って学習を行う。 ○クイズなどで場を盛り上げてよい。		

題材名	「生（性）に関する学習」 ～パーソナルスペース～	
学習内容		学習領域
・ パーソナルスペース ・ いいタッチ、悪いタッチ ・ ふれあうよろこび ・ 許可を取る（同意と拒絶） ・ 学校でのルール		身体的側面：自分の身体、他人の身体 心理的側面：人との適切なかかわり、友達とのかかわり体験 社会的側面：適切な距離感、ふれあいの許可申請、かかわりの受け入れ、拒絶
本時の目標・ねらいたい事		
パーソナルスペースを知る		ふれあいと拒絶（許可、同意、拒絶）
・ 人との適切な距離を知る。 ・ 公共の場でのふれあいの限度を知る。		・ ふれあうことの喜びを知る。 ・ ふれあいの許可を相手に取ることを知る。 ・ かかわりを受け入れて同意するか、それとも拒絶するか、権利があることを知る。 ・ いいタッチ、悪いタッチについて知る。
授業展開		
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動	備考
	●ふれあい活動を行う。（ふれあいサイコロや遊び） ●児童は相手に許可を得ることを体験する。 ●受け入れ側は同意してもいいし、拒絶してもいいという体験をする。 ○パーソナルスペースという言葉の説明する。 ●児童は TT ポーズなどで公共の場での距離感を体験する。 ●クイズなどで事例を学ぶ。	

題材名		「生（性）に関する学習」 ～体の洗い方～	
学習内容		学習領域	
・あたまのあらいかた ・からだのあらいかた ・かおのあらいあかた ・せいきのあらいかた ・からだをふく		身体的側面：体・髪 of 正しい洗い方、洗顔 心理的側面：自分の性 社会的側面：体臭のケア、清潔を保つ	
本時の目標・ねらいたい事			
からだのあらいかた		からだのふきかた	
・髪、顔、身体、性器 of 正しい洗い方を知る。		・身体 of 正しい拭き方を知る。	
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動		備考
	●以前行った「からだのなまえ」で身体部位 of 名称を確認する。 ○繰り返し行うことで、定着を図る。 ○動画を提示し、部位ごと順番に洗うことを示す。 ●児童は、実際にタオルなどを用いて身体をこする。 ○洗髪についても動画で説明する。 ●児童は、自分の指で頭皮をこすり、洗い方を学ぶ。 ○男女に分かれて、性器 of 洗い方を説明する。男子は包皮を剥いて洗うことも指導していく。 ●（男子）ペニスの模型を使用し、包皮を剥いて洗う練習をする。（女子）模型が完成したら、ヴァギナのひだなどを洗う練習をする。 ●タオルを使用して、拭き上げ of 練習を行う。		

題材名	「生（性）に関する学習」 ～第二性徴について（男子）～	
学習内容	学習領域	
・ 思春期をむかえる身体 ・ 変化する体 ・ 思春期 ・ 反抗期 ・ 勃起と射精	身体的側面：身体の変化 心理的側面：自分の性、異性への好意 社会的側面：生（性）に関する事柄への正しい知識	
本時の目標・ねらいたい事		
第二性徴	勃起・夢精の処理	
・ 体毛や声変わりなど、思春期に起こる身体の変化を知る。 ・ 心の変化を知る。 ・ 勃起と射精について知る。	・ 夢精や勃起に対する処理を知る。	

授業展開		
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動	備考
	●第二次性徴に起こる変化の映像を見る。 ○難しい内容なので、補足する。 ○体毛の変化について写真を用いて説明する。 ●児童は、自分の身体の体毛を確認する。プライベートゾーン以外は他人の体毛も見てみる。 ○声変わりについて動画で説明する。 ●声変わりしている児童がいたら話してもらう。 ○反抗期と恋について動画で説明をする。 ●児童に好きな人はいるか質問をする。 ○無理に聴かず、気持ちを大切にしようということと、多様性についても少し話しておく。 ○勃起と射精についてイラストを用いて説明する。 ○夢精の処理について説明する。 ●勃起してしまったときに落ち着かせるセリフ「落ち着きたいので、座っていていいですか？」の練習を行う。 ○ペニスを綺麗に保つ大切さを説明する。 ●ペニスの模型を使用して、包皮を剥く練習をする。	

題材名		「生（性）に関する学習」 ～第二次性徴について（女子）～	
学習内容		学習領域	
・ 思春期をむかえる身体 ・ 変化する体 ・ 思春期 ・ 生理・生理の処理		身体的側面：身体の変化 心理的側面：自分の性、異性への好意 社会的側面：生（性）に関する事柄への正しい知識	
本時の目標・ねらい			
第二次性徴		生理の処理	
・ 思春期に起こる身体の変化を知る。 ・ 心の変化を知る。		・ 生理の正しい処理を知る。	
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動		備考
	○第二次性徴に起こる心（イライラする、落ち込む等）と身体の変化を説明する。 ○生理の正しい処理について説明する。 ○トイレでの処理の仕方を説明する。 ●実際にナプキンを使用して、付けたり捨てたりする練習をする。 ※●時間があれば、トイレで実践を行う。		

中学部

題材名	「生（性）に関する学習」 ～素敵な 男性 女性 になるために③～		
学習内容		学習領域	
・ 体の名称 ・ 射精と勃起の知識と対応 ・ 異性への興味や好意の芽生えと関わり方について		身体的側面：自分の体、精通 心理的側面：好きになる性 社会的側面：適切な距離、気持ちの伝え方	
本時の目標・ねらいたい事			
体の名称、射精と勃起の知識と対応		異性への興味や好意の芽生え関わり方について	
・ 外性器、内性器の名称やそれにかかわる体の部位の名称を知り、知識として身につける。 ・ ペニスの2つの働き①「おしっこを出す」②「精子を出す」という知識を身につける。 ・ 尿と精子が出る仕組みを理解し、尿と精子は混ざることがなく、精子は汚いものではないということを知る。 ・ 夢精についての知識を身につけ、その後の適切な対応について知り、知識として身につける。		・ 第二次性徴に伴い、内面的にも変化が起きることを知る。 ・ 人を好きになることや性には多様性があることを知る。 ・ 興味や好意のある人への不適切な接し方の例を通して、自分の行動について考え、今後の適切な行動について考えるきっかけを作る。	
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動		備考
	1 前時のふりかえりをする ・ 女性の性器や月経について確認（卵巣、卵子、月経、月経の期間等について） 2 本時の学習内容「男性の体（なか）の変化と気持ちの変化」について （1）体の中の変化 ・ 体のイラストを映すと共に模型を使い、外性器、内性器の名称や場所、役割の確認。 ・ 勃起の仕組み。射精をする時は、勃起する。また、気持ちとは関係なく突然勃起することもある。触らずに静かにしていると収まることを伝える。 ・ 尿と射精について。通る道は一緒だが混ざることなく精子は汚いものではない。 ・ 夢精について。クイズを出して、射精で下着が濡れてしまったときの対応について考えさせる（昨年度出題済み）。精液は、汚いものではないが、濡れてしまった場合は、水で洗ってから洗濯機に入れ、新しい下着に履き替えることを伝える。 （2）気持ちの変化 ・ イラストを提示し好意を持つ人への対応について、どのようにしているか考える。 ・ 思春期になると気持ちも大人に近づき、好きな人のことが気になったり、近づきたいと思ったりするようになることを伝える。 ・ 好意を持つ相手に「好き」という気持ちを伝えてもよいが、相手の気持ちを考えることも大切であることを伝える。 ・ 好意の表現として不適切な行為（「抱きつき」「プライベートゾーンへのタッチ」「後をつける」「のぞき」）を提示し、今後どのように接していけばよいかを考えさせる。 ・ 好意を持つ相手であっても、適切な距離感が大切であることを伝える。 3 まとめ		TV iPad ケーブル類 性器模型 男性エプロン

高等部

題材名	「生(性)に関する学習」 Aグループ ～体の仕組み、ふれあいについて～		
学習内容		学習領域	
・異性のからだのしくみ ・Ⅰ学期の復習 プライベートゾーン No、Go、Tell からだのしくみ		身体的側面：体のしくみ、プライベートゾーン 心理的側面：体の性、自分の良さ、他者の良さ 社会的側面：人との関わり、意思の表出	
本時の目標・ねらいたい事			
異性のからだのしくみ		Ⅰ学期の復習	
・異性の生殖器のしくみや、思春期のからだや 気持ちの変化について知る。		・なぜプライベートゾーンが大切かを知る。 ・No、Go、Tell について知る。 ・主な内臓の名称知る。 ・男女の生殖器の違いについて知る。	
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動		備考
	1、集合・挨拶 2、異性の身体のしくみについて ●男女に分かれ学習する。 ～休憩～ 3、Ⅰ学期の復習 ●グループごとにⅠ学期に学習したことを思い出し、発表する。 OST が各グループにつき、話し合いの補助をする。 ●スライドを視聴して、Ⅰ学期の学習を再確認する。 4、思春期の身体の変化の動画視聴 ●男女合同で動画視聴 5、ふれあいサイコロゲーム ●2 グループに分かれサイコロゲームに参加する ハグ、ハイタッチ、頭なで、握手、おんぶ、コチョコチョ 6、感想、質問、要望記入 ●学習したことについての感想や質問、これから学びたいこと 興味があることなど記入する。		スライド 紙、ペン スライド さいころ 記入用紙

[illegible]

題材名	「生（性）に関する学習」 Bグループ ～人との関わり方、感情、好きになること～		
学習内容		学習領域	
・ 人との関わり方 ・ 感情のコントロール ・ 誰かを好きになるということ		心理的側面：好きになる性、性自認、異性への好意 社会的側面：人との関わり（大人、同世代）、コミュニケーション（意思の表出、適切な距離）、交際（気持ちの伝え方）、トラブル回避（身の回りの人）	
本時の目標・ねらいたい事			
人との関わり方・感情のコントロール・誰かを好きになるということ			
・ 人との関わり方では、直接相手に質問をしなくても、ヒントとなる表情やしぐさなどのポイントから相手の気持ちを理解できるようになる。自分と他者の気持ちの違いを理解し、言葉や表情、身振りなどを用いて、自分の気持ちを伝えたり、それらを総合的に判断して相手の思いや感情を読み取って行動できるようにしたりする。ロールプレイや簡単なゲームを通じて友達と楽しく学習を進める。 ・ 感情のコントロールでは、たくさんの感情があることを知り、人や状況によって感情の表出が違うことを知る。相手の気持ちを知るヒントを知り、相手の気持ちを推測する。自分の気持ちを適切な表情や身振り、言い方で伝えることができるようになる。 ・ 誰かを好きになるということでは、人を好きになるということとはどのような感情を抱くことなのかを知る。その中で感情を豊かにしていくこと、してはいけないことを学ぶ。また誰かを好きになるということは命を育むことにつながることを知る。			
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動		備考
	1. 前時の振り返りをする ○前回の学習が本時の学習につながっている事を意識する。 ●スライドを見てMT からに質問に答える。 2. 本時の学習内容について (1) 人との関わり方について ○教員の二種類の表情（笑顔／落ち込み）をスライドに映し、それぞれがどのような気持ちなのかを考え、発言する。ST は近くの生徒への問いかけ、投げかけをお願いします。 ●表情を見て思ったこと、感じたことを発言する。 ○相手の気持ちを知るには3つのヒントがあることを知る。 【顔（表情）、声の大きさ、周りの様子】 ○各学年代表者（教員）1名を選出し、全体の前である気持ちを込めて「おはよう」とあいさつを行う。 ●聞いている生徒はどのような気持ちで「おはよう」と言っているかを考える。 ○それぞれがどのような声の特徴があったかを考える。 ○各学年代表者（生徒）1名を選出し、全体の前である気持ちを込めて「おはよう」とあいさつを行う。 ●聞いている生徒はどのような気持ちで「おはよう」と言っているかを考える。 ○それぞれがどのような声の特徴があったかを考える。 ○6人ほどのグループを作り「気持ち当てゲームを」を行う。		スライド その場で発言内容をスライドに書き込む。 「喜び・怒り・不安」の3種類。

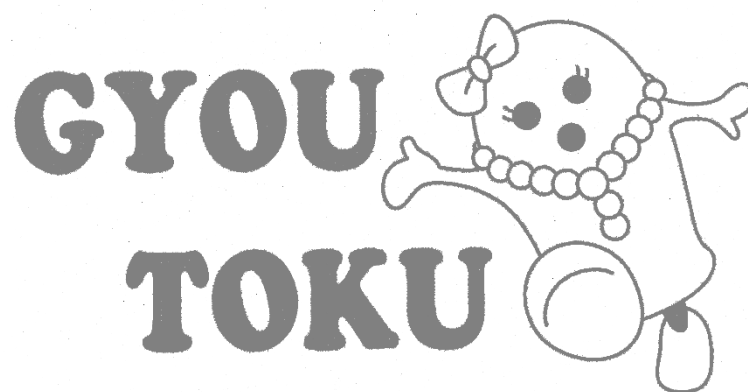
	●出題者（1人）は、自分のカードの中から一枚カードを選び、その気持ちを演じる。 周囲の生徒は出題者がどんな気持ちなのかを考えて、これだと思うカードをあげる。1人1回出題者を務めたら終了。 （2）感情のコントロール ○スライドに提示されたイラストを見てどのような感情を抱いているかを考える。 数名を指名して考えたことの発表を促す。 ●思ったこと、感じた事を発言する。 ○気持ちあてゲームで使用した5つの感情以外にも人にはたくさんの感情を持っていることを知る。気持ちの代表5つを知り、それぞれの対処方法を知る。 ●知り得た対処方法をその場で行ってみる。 ○ストレスとは何かを知り身体への影響があることを知る。間違っているストレス解消方法と正しいストレス解消方法を学ぶ。 ●溜めたストレスをなくすためにはどうしたら良いかを考える。 ○リラックス状態を体験する。 ●「こきゅう法」・・・お腹に手を当てて腹式呼吸を行う。1、2、3で鼻から息を吸い込み、4で息を止める。このときお腹が膨らむようにすう。5、6、7、8、9、10でお腹が凹むように口から息を吐く。 ●「軽い運動①」・・・体の一部にわざと力を入れた後に力を抜く。両手で拳を作り、ぎゅっと握る。5秒間そのまま待った後ゆっくりと拳を開いて力が抜けていく感覚を味わう。 「軽い運動②」・・・両方の肩を耳に近づけるようにグッと上げて5秒間停止する。その後一気に力を抜き、力が抜けていく感覚を味わう。 （3）誰かを好きになるということ ○好きな人はいますか？生徒数名に問かける。その中で「好き」にも4種類の好きがあることを知る。「恋愛」「友人、仲間」「憧れ」「家族」 ○人を好きになると相手のことを考えるようになり、人間関係について学ぶことができる。 ○「好きになる」中でも恋愛感情には特別な感情が抱くことになることを知る。 ●恋愛として人を好きになったらどのような現象が自分に訪れるかを考える。 「相手のことをふと考える」「ドキドキする」「寂しさ」「独占」 ○好きになることは大切なことであるが、いきすぎた思いは危険であることを知る。 ●恋愛として好きになることでしてはいけないことを考え発言する。 ○恋愛は一方通行と（片思い）と両思いがあることを確認し、両思いになると新たな命を育むきっかけになることを知る。 ○恋愛の好きは独占、相手のことを考えている、寂しさを感じる 3. まとめ ＜ワークシート＞ 表情プリントを配布し、感情を記入する。	気持ちカード1人5枚セット スライド ワークシート
--	--	--

題材名	「生（性）に関する学習」Bグループ　～栄養～		
学習内容	学習領域		
・（健康）・栄養	身体的側面：自分の体（体重の変化の理解と対応）、体の変化（二次性徴全般についての理解と対応）、生活リズム（食習慣の見直しや改善）、食事（3食や朝食の重要性・栄養素の理解・栄養バランスを考えた食事・間食の取り方・食品添加物等の理解）、対処・病気（病気の知識と予防、病気の種類） 心理的側面：体の性（二次性徴（身体的変化）への理解と受容） 社会的側面：自立と結婚（家事の役割・仕事）		
本時の目標・ねらい			
・ 食べ物の栄養素についての理解を深める。 ・ 栄養素のバランスについての理解を深める。 ・ 五大栄養素についての理解を深める。 ・ 給食の栄養バランスについて提示し、栄養素のバランスがいかに優れているかを伝える。 ・ 自身の朝食及び、普段の食事の栄養素について考え、栄養のバランスについて知ると共に、今後の食生活への目標を考えていく。			
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等　　●生徒の学習・活動		備考
	1. 授業の約束確認 ○ハッピーライフの授業をなぜ行うのか、約束事を確認する。 2. 本時の学習 ○健康のスライドを振り返りながら、健康と栄養の関係性について伝えていく展開。 ○“栄養って何？”と問いかける。 ●“栄養”について、自分、隣の生徒、STと考える（3分程度）。 ○“栄養”は「食べて命を繋いでいくことである」と伝え食事の大切さへと繋げていく。 ○朝ごはんに食べた物について、問いかける。「ご飯？　パン？　食べてない？」 ●「ご飯」「パン」「食べてない」のどれかに挙手をする。 ○ご飯とパンの栄養素を提示する。 ○“栄養素（五大）”って？「たんぱく質は、エネルギーのもと…等」と説明していく。 ○「ご飯」と「パン」の栄養素の違い、どちらが良いのかを伝える。 ●提示された食べ物が「炭水化物（糖質）」「たんぱく質」「脂質」「ビタミン」「ミネラル」のどのグループに分類されるのかを、4，5人のグループで考える（10分程度） ○答えを提示する。 ●自分が食べた食材（朝と給食）に○をつけていく。 ○栄養バランスについて説明し、栄養バランスが悪いと・・・について説明する。 ○栄養食について説明する。（カロリーメイト等） 3. まとめ ・ 栄養素 ・ 栄養バランス　など。		ファイル スライド スライド ワークシート 教材 スライド ワークシート

題材名		「生（性）に関する学習」 C グループ ～自分の体、体操、快不快、関わり方～	
学習内容		学習領域	
自分の体 健康体操 快不快 人との関わり方		身体的側面：体（自分の体）、清潔（入浴） 心理的側面：思春期の心やストレス（自分の良さ、他者の良さ、発散方法） 社会的側面：人との関わり（大人、同世代）、コミュニケーション（意思の表出、適切な距離、適切な拒否、適切な同意）	
本時の目標・ねらいたい事			
自分の体、健康体操		快不快、人との関わり	
・ 体の名称や各部位の動かし方を知る。 ・ 入浴の際に必要な動作を学ぶ。		・ 好きな感覚、嫌いな感覚を知り、受け入れや拒否を表現する。 ・ 人によっていいタッチ、悪いタッチがあることに気付く。 ・ 他者との関わりを受け入れたり自ら関わろうとしたりする態度を養う。	
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動		備考
	Ⅰ. 本時の学習内容について (1) 自分の体について ○体の各部位の確認：スライドに注目できるよう促し、模倣が難しい生徒は教員が手を添え部位を確認する。 ○必要に応じて福笑い、体パズル等を提示し、各生徒の身体イメージを確認する。 ●スライドを見ながら身体各部位に触れる。 ●福笑いや体パズルを完成する。 (2) 健康体操、快不快 ○タオル（各生徒の）やスポンジ等で腕、足、首等をブラッシングする。 ○タオル、スポンジ等を提示する。 ●タオル、スポンジ等好みのものを選び、自分の体をブラッシングする。 ●色々な感触を試してみる。 ○用具を複数で使う場合はアルコール消毒する。 ○髪をブラッシングする。 ○複数のヘアーブラシを提示する ●ヘアーブラシを持ち、髪をブラッシングする。 ○用具を複数で使う場合はアルコール消毒する。 ○別紙「気持ちいい表」に記入する。 ○人によって好みが違うことを具体的に伝える。 (3) 快不快、人との関わり方 ○好きな音を見つける。 ○色々な楽器（音）を提示する。 ●好きな音を選ぶ。 ●音を鳴らしてみる。 ●曲に合わせて演奏する。 ○別紙「気持ちいい表」に記入する。		スライド 福笑い 体パズル タオル スポンジ ボディブラシ アルコール ヘアーブラシ アルコール 気持ちいい表 楽器（学年に応じて） 気持ちいい表

	○人によって好みが違うことを具体的に伝える。 ～休憩～ (4) 人との関わり方、健康体操 ○友達や先生と挨拶する。 ○挨拶の仕方（お辞儀と言葉、ハイタッチ、握手）を提示する。 ●それぞれに合ったやり方で挨拶する。 ○人によって距離感、挨拶の仕方が違うことを具体的に伝える。 ○フォークダンスをする。 ○動画を提示する。 ●動画を見た後ペアを選び、お願いする。 ○時間を見て2～3種類のダンスを提示する。 ○動作模倣、バランスボール、トランポリン、ストレッチポール、キャスターボード等で体を動かす。（学年に応じて） ○実態に応じて行う動きや時間、回数を変える。 ○気持ちいい表に記入する 2. 集合、挨拶	動画 アルコール 音源 バランスボール トランポリン ストレッチポール キャスターボード 気持ちいい表
--	--	--

題材名		「生（性）に関する学習」 C グループ ～身体図鑑、身体測定～	
学習内容		学習領域	
からだの名前		身体的側面：自分の体、プライベートゾーン、生活リズム	
身体図鑑づくり		心理的側面：自分の良さ、他者の良さ	
身体測定		社会的側面：人との関わり、コミュニケーション	
本時の目標・ねらい事			
自分のからだを知る・身体図鑑づくり		身体測定	
・体の名称や各部位の動画を見ながら触ったり動かしたりすることで理解できる。 ・うつぶせになり、身体の周りをペンでたどり模造紙に書くことで、客観的に自分の身体の大きさを知ることができる。 ・教員からの関わりを受け入れ、活動することができる。		・身長、体重、血圧の測定を行い、自分の健康状態を知ることができる。 ・測定の流れに沿って教員からの指示を受けながら活動することができる。	
授業展開			
時間	○ 学習内容・支援・指導・配慮等 ●生徒の学習・活動		備考
	1. 本時の学習内容について (1) からだの名前 ○からだの動画を視聴しながら、触ったり、動いたりして部位を確認する。また、生徒によっては個別の言葉かけを行い、理解を深められるようにする。 ※年度当初より同じ動画を活用。定着しつつある。 ●動画に注目をする。(聞く・見る) ●指定された身体の部位を触る。 ●教員の身体支援を受け入れる。 (2) 身体図鑑づくり ○今回で3回目の記入となる模造紙を用意し、書き加える。生徒が安心してうつぶせになり活動に取り組めるよう言葉かけや身体支援を行う。 ○ペンの色は前回、前々回の物と変え、生徒がわかりやすいようにする。 ○生徒同士で模造紙を見比べ大きさに関心が持てるようにする。 ●うつぶせになり、動かずに活動に参加する。 ●大小の理解や他者と自分を比べる。 ●教員の身体支援を受け入れる。 (3) 身体測定 ○学年ごとに保健室にて身体測定を行う。 ○円滑に進むよう、前もって生徒に伝える等見通しを持って測定できるようにする。 ●体重、身長、血圧の測定を行う。 ●教員の指示に従い測定に参加する。 2. 集合、挨拶（各教室） ○終わりが意識できるように、生徒が号令をかける。 ●号令をかける。号令に合わせて挨拶をする。		iPad モニター 模造紙 油性ペン （保健室にて） 記入用紙 体重計 身長計 血圧計 等



R8 生(性)に関する学習 手引き

行田特別支援学校 ハッピーライフ委員会

〒360-0023 埼玉県行田市長野4235番地
048-554-3302